

カラコロ工房に関するサウンディング型市場調査
実施結果（概要）

1 調査名称

カラコロ工房に関するサウンディング型市場調査

2 実施主体

松江市産業経済部商工企画課

3 実施経過

内容	日程
実施要領の公表	令和3年10月15日（金）
提案書提出期限	令和3年12月3日（金）
サウンディングの実施	令和3年12月24日（金） 令和4年1月28日（金）
結果概要の公表	令和4年4月6日（水）

4 対話参加状況

内容	参加事業者数
サウンディング調査	2事業者

5 サウンディング結果の概要

参加事業者の意見は以下のとおりです。なお、詳細につきましては参加事業者のアイデア及びノウハウの保護の観点から公表いたしません。

内容	主な意見概要
1. 活用のポテンシャル	
当該施設について考えられる優位性や潜在的可能性について	<ul style="list-style-type: none">・建物の老朽化も進み、この度改修されることとなり、これを機に新たな産業交流施設として生まれ変わろうとしている。中心市街地にあり認知度も高く、立地的にも国内外の観光客の集客の場として期待できる。・市民生活からは遠く、観光客導引にも弱い気がしている。登録有形文化財としての価値や周辺からのアクセスのし易さ、松江城や堀川などの観光資源を上手に活用することでカラコロ工房をブランド化する素地は十分にあると考える。

内容	主な意見概要
2. 活用内容について	
どのように活用するのか (活用イメージ)	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな機能を加え施設価値を高め、市民が楽しみ且つ活躍できる場となる仕組みづくりを行うことで、結果的に国内外の観光客が楽しむ場となる。 ・松江市民の「憩いの場」として生活に密着した活用を中心に、まずは行って楽しい時間を過ごせる「知識・楽しみ・交流」の出来る広場のような使い方。
京店カラコロ広場との活用イメージや地域連携の可能性について	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に人が集うために、これまでにない風景として大道芸人のけいこの場や、カラコロ工房と連動したマルシェの定期的な開催をしていく。 ・堀川遊覧船の利用者へのお茶のサービスや、周辺商店街との合同販促会議交流の実施。
3. 事業方式について	
施設の運営方式について	<ul style="list-style-type: none"> ・2者とも指定管理者制度
収支の見込みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・主にテナント利用料や施設利用料、指定管理料の収入にて人件費や施設費の支出を賄う ・令和2年度の実績を精査し概ね基準とする
設備や内装等について	<ul style="list-style-type: none"> ・旧銀行窓口で仕切りがあるため、店内を回遊するための通路の確保 ・電気容量の増設及び電気取り込み口（コンセント等）の増設 ・外光の取り込み含めスポットライトなどの設置により館内の照度を上げる ・カラコロ工房全体から感じる松江の伝統、文化、国際観光都市の中心を担う装いを希望
内容	主な意見概要
4. その他、課題・問題点について	
文化財として利用上、想定される課題はありますか	<ul style="list-style-type: none"> ・導線等により一部内装変更などがどの程度可能か ・課題などは特になし
事業・施設運営を進める上で想定される課題はありますか	<ul style="list-style-type: none"> ・開閉館時間の変更設定について ・建造物、設備や機器類などの破損・故障の修繕・修理費の負担について ・課題などは特になし

6 今後の対応

今回のサウンディング実施結果を参考にさせていただき、令和3年度末に利活用の方向性を示した基本構想を策定致しました。

今後は、基本構想を踏まえて、魅力的で「ワクワクする」施設として活用を図る民間運営事業者（指定管理者）を、令和4年7月頃に募集します。